

3-9 金華山島生態系保護保全対策事業

事業目的

金華山島は、県指定鳥獣保護区特別保護地区となっており、ニホンジカ、ニホンザルなどのほ乳類や小鳥類が多く生息・越冬したり、樹齢数百年のブナやモミの原生林など、学術的にも、生物多様性の観点においても、貴重な自然環境が残されています。しかし、島の生態系や森林機能の根幹をなすブナやイヌシデの稚樹がニホンジカに採食され、天然更新ができずに草原化が進み、豊かな島内生態系が崩壊の危機にあることから、後継樹の育成・保全による植生を回復し、島内の生物多様性の保全を図ります。

事業内容

既設防鹿柵の補修点検作業及び
現地調査等

- 施設の点検を実施
- 施設の維持管理を実施

平成28年度事業費 1,000千円

事業効果

CO2削減効果	—
その他(防鹿柵の維持延長)	400 m



金華山島全景

現状



防鹿柵ネットの補修が必要な状況



防鹿柵設置後、植生が回復した状況



税導入後のイメージ



ネットの補修状況



植生回復区域の防鹿柵ネット撤去